



# 海上小だより

令和5年 2月17日 No.17 銚子市立海上小学校



令和4年9月及び令和5年1月に実施しました学校評価アンケートについて、その結果と考察がまとまりましたので、本紙を通じて皆様にお知らせします。ご協力に感謝申し上げます。

## 令和4年度 銚子市立海上小学校 学校評価アンケート結果

※アンケートの4段階評価で、評価4と評価3を合わせた割合を、肯定評価とし、評価2と1を合わせた割合を課題がある評価とし、数値で表しています。

■学校教育目標にかかわること		対象	前期		後期	
			成果	課題	成果	課題
	質問項目		4・3	2・1	4・3	2・1
1	お子さんは、楽しく学校に通っている。	保護者	96.1%	3.9%	97.4%	2.6%
	学校は、楽しい。	児童	94.7%	5.3%	96.4%	3.6%

■本年度の重点・努力目標にかかわること		対象	前期		後期	
			成果	課題	成果	課題
	質問項目		4・3	2・1	4・3	2・1
1	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	保護者	89.4%	10.6%	84.6%	15.4%
	学校の授業内容はよくわかる。	児童	93.8%	6.2%	91.5%	8.5%
2	学校は、学習意欲の向上と基礎学力の定着に努め、考える力や表現する力を伸ばしている。	保護者	96.7%	3.3%	94.2%	5.8%
	先生や友達の話を中心に聞いて、「なぜだろう」とよく考えて学習に取り組んだりしている。	児童	92.1%	7.9%	92.8%	7.2%
3	お子さんは、家庭学習（宿題を含む）をすることが習慣化している。	保護者	86.1%	13.9%	84.0%	16.0%
	宿題や自主学習など、家庭で勉強している。	児童	92.5%	7.5%	84.8%	15.2%
4	学校は、読書の習慣化を図るための指導を適切に行っている。	保護者	93.3%	6.7%	91.0%	9.0%
	読書をしている。	児童	78.0%	22.0%	81.2%	18.8%
5	学校は、各教科や総合的な学習の時間等をとおして《ふるさと学習》の充実を図っている。	保護者	90.6%	9.4%	93.6%	6.4%
6	お子さんは、挨拶や言葉づかいなどの基本的な生活習慣やマナーが身についている。	保護者	91.1%	8.9%	84.6%	15.4%
	自分から「おはようございます。」など相手の目や顔を見て挨拶ができる。	児童	86.3%	13.7%	92.8%	7.2%

■本年度の重点・努力目標にかかわること		前 期		後 期		
7	質問項目	対象	成果	課題	成果	課題
			4・3	2・1	4・3	2・1
	睡眠時間は、毎日十分にとっている。	児童	93.8%	6.2%	94.6%	5.4%
8	道徳の授業で、積極的に考えを出して話し合いをしている。	児童	83.3%	16.7%	87.0%	13.0%
9	学校は、自己肯定感を育てながら、友達を思いやる心や、自分と仲間を大切に する指導を適切に行っている。	保護者	96.1%	3.9%	89.7%	10.3%
	友達と協力したり、友達のよいところを見つけたりしている。	児童	94.7%	5.3%	96.4%	3.6%
10	学校は、外遊びや体育授業などにより、運動に親しんだり、体力をつけたりする 取組を行っている。	保護者	97.2%	2.8%	96.2%	3.8%
	体育の時間や休み時間、運動や遊びを頑張っている。	児童	93.4%	6.6%	89.7%	10.3%
11	学校は、配慮を要する児童だけでなく、一人一人の教育的ニーズに応じた指導 を心がけている。	教職員	100.0%	0.0%	94.1%	5.9%
	学校は、校内委員会や日頃の情報共有により、支援が必要な児童の実態や支援 体制等について共通理解が図られ、必要に応じて対応の改善が図られている。	教職員	100.0%	0.0%	94.1%	5.9%
	学校は、児童一人一人の教育的ニーズに合った指導に努めている。	保護者	87.8%	12.2%	87.2%	12.8%
12	学校は、いじめ問題などの問題行動に対して、アンケートや教育相談などをと おして、早期発見・早期対応に努めていると思う。	保護者	97.4%	2.6%	95.5%	4.5%
	友達をいじめたり、友達にいじめられたりしないで、仲良く過ごしている。	児童	93.3%	6.7%	94.2%	5.8%
13	学校は、児童の安全確保や事故防止に取り組んでいる。	保護者	93.3%	6.7%	89.1%	10.9%
	自分の命を守るために、交通ルールを守ったり、避難訓練に真剣に取り組んだり している。	児童	98.2%	1.8%	93.7%	6.3%

■保護者・地域との連携にかかわること		前 期		後 期		
1	質問項目	対象	成果	課題	成果	課題
			4・3	2・1	4・3	2・1
	学校は、いろいろな便りやメール、ホームページ等で、学校の様子や子どもた ちの活動の様子を伝えている。	保護者	94%	6%	92.3%	7.7%
2	学校は、保護者や学校外の機関と協力した活動を実施して、家庭や地域と連携 しながら教育活動を進めている。	保護者	91%	9%	91.0%	9.0%

裏面に分析と改善点を載せました。

## 1 学校評価結果（教職員・保護者・児童）の分析と改善点

### <学校教育目標にかかわること>

学校に楽しく通っていると感じている保護者は前期96.1%、後期97.4%（昨年度98%）、楽しいと感じている児童は前期94.7%、後期96.4%（昨年度95%）と昨年同様高い数値で、特に後期の方が高い数値を示しています。良好な人間関係に努め、コロナ禍ですが、充実した学校生活を送ることができていると考えます。ただし、学校が楽しいと思わない児童、保護者が2~5%程度いますので、要因を探り、対応していくことで100%を目指していきます。

### <本年度の重点・努力目標にかかわること>

学習面では、授業内容がよくわかると答えた児童は前後期平均92.7%と高い数値を示しています。コロナ禍ですが、校外学習や講師を招いての学習を積極的に取り入れたり、タブレットを活用したICT学習に取り組んだり工夫した学習を実践した成果だと考えます。今後も、児童の思考力・判断力・表現力を深めるために、さらに、授業改善を図っていきます。

家庭学習に関して、保護者は平均85%、児童は前期92.5%、後期84.8%であり、概ね肯定評価です。児童については、後期の方が低い数値で、継続することの難しさを感じます。

読書活動について、前期78.0%、後期81.2%の児童がしていると答えました。昨年度の62.3%に比べ、肯定的な評価の割合が高く、読書啓発への取り組みが成果を上げていると判断します。また、前期に比べ後期の方が高い数値を示し、上昇傾向にあると言えます。学校の読書活動に対する保護者の評価も、肯定的な回答が平均92.2%と高い数値を得ました。朝読書の時間を通年で確保したこと、廊下に図書を置き、いつでも手に取ったり選んだりすることができる環境づくりをしたこと、また、校長からの読書賞の取組み、図書館司書や図書委員会による読み聞かせ活動が一定の成果を上げていると考えます。

基本的な生活習慣として、児童の挨拶の自己評価は前期86.3%から後期92.8%に上がり、児童は意識をして取り組んでいることがわかります。児童会の活動として、当番の児童が朝昇降口や門に立ち、挨拶運動を行ったり、生徒指導担当が昇降口で登校時に出迎えたりしていることが一定の成果を示していると言えます。今後も家庭と連携していきながらさらに指導を行っていきたいと思います。

毎日朝ご飯を食べている児童は96%で、睡眠時間を十分にとっていると答えた児童は94.6%です。児童の健康と成長に大きく関わる食事と睡眠については、早寝、早起き、朝ご飯の奨励を今後も引き続きしていきます。

「友達と協力したり、よいところを見つけたりしている」においては、児童は前期94.7%、後期96.4%と高い数値です。いじめに関する項目においても94.2%の児童が肯定評価です。これからも道徳や学校生活の場面をとおして、心の教育を推進してまいります。保護者のいじめ問題に関する早期発見・早期対応について、保護者評価は平均96.5%でした。昨年度より肯定率が高まりました（昨年度91.3%）。

体力向上面では、部活動を再開したり、体育の授業で多様な運動を再開したりした成果が表れ、肯定評価の児童が平均91.6%と、高水準でした。感染対策がだんだんと緩和されてきたものの、屋外でマスクを外すことに抵抗を感じたり、接触の多い運動を長時間続けることは控えていたりしている現状が今後も続くと思えます。児童の気持ちを大切に指導を続けていきます。

交通安全や災害対応等の安全に関わる事項では、高台避難を含む定期の避難訓練やワンポイント避難訓練など、地域と連携した取組や警察の協力で実践に向けた指導を行いました。また、老朽化したジャングルジムやブランコを撤去したり、老木や倒れかかっている樹木を伐採したりと安全確保に努めました。肯定評価は保護者が91.2%、児童が96.0%と高い数値となりました。

### <保護者・地域との連携にかかわること>

「学校での様子がわかる」では、今年度運動会を実施し、制限はありましたが保護者参観を再開しました。また、学校だよりやホームページを利用して学校の活動を伝えました。校外学習等の行事写真についてはインターネットでの注文ができるようにし、写真で活動の様子が伝わるように工夫しました。保護者の肯定評価は平均93.2%であり、昨年度の91.1%から向上しました。

## 2 令和5年度に向けての改善点

- (1) 全校児童が「学校が楽しい」と思えるよう、児童一人一人の活躍の場を設け、生徒指導の機能を生かしたわかる授業や、楽しい行事を工夫して実践していきます。また、その中で自他を尊重する心を引き続き育ててまいります。
- (2) 学習面では、学習課題を明確にし、体験的な活動や、話し合い活動を一層充実させ、思考力や判断力・表現力を育てるよう授業改善を図ってまいります。ちばっこチャレンジ100の工夫ある活用を実施するとともに、ICTを活用した授業や家庭学習の仕方についても子どもたちに指導助言を行うことで、工夫・改善してまいります。
- (3) 読書活動については、引き続き図書館司書の協力を得ながら、図書室の環境整備に努めるとともに、読書の機会を増やし、読書の楽しさを味わえるようにしてまいります。また、家庭での読書時間を増やすため、読書カードを活用したり、お便り等を出したりし、啓発活動を推進してまいります。
- (4) 児童の健康や保健指導については、特に朝食や睡眠の大切さをしっかり伝え、日常生活でも実践できるよう、保護者も含めて引き続き啓発してまいります。また、挨拶は、引き続き児童会を中心とした挨拶運動を実施したり、学校からの便り等で保護者と連携したりしながら児童の意識を高め、自然と挨拶ができるようにしてまいります。
- (5) いじめ問題については、今後もアンケートや教育相談、日常の観察から早期発見・早期対応・早期解消に努めるとともに、道徳の授業を充実させ、思いやりの心を育てる指導を意識しながら、いじめ根絶を目指します。